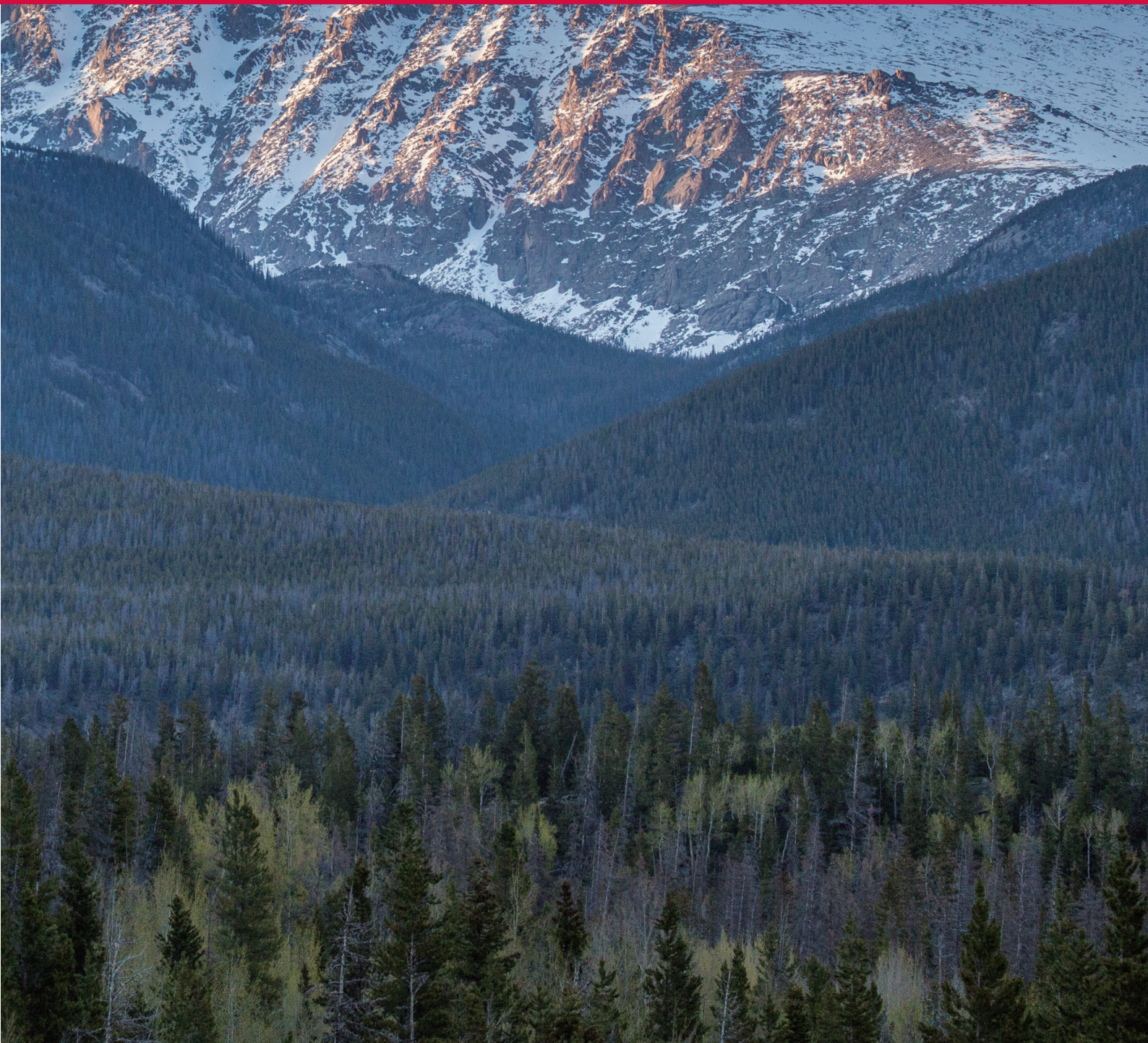


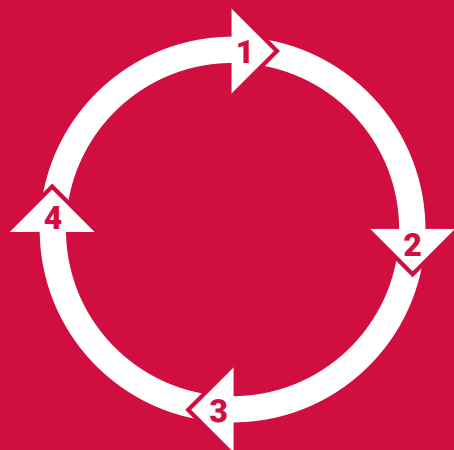
CDP SBT(科学に基づく目標設定) キャンペーン 中間報告

2020年6月—2021年1月



キャンペーン: 目標

高排出企業が科学に基づく排出削減目標 (SBT) を設定することを促進し、投融資ポートフォリオの脱炭素を加速させるような、投資と投資機関と企業間の正の野心のループを生み出すことを目指しています。



1. 投資家は企業のSBT設定を促進するため、エンゲージメントする
2. SBTを設定する上場企業の数が増加する
3. より多くの企業がSBTを設定することにより、投資家はパリ協定に沿った投資ユニバースを構築しやすくなり、気候に対する公な行動を起こすことができる
4. 金融機関が投融資ポートフォリオに、SBTにコミットする

科学に基づく目標設定イニシアチブとは

科学に基づく目標設定イニシアチブは、投資機関に対して、企業の排出削減目標を評価するための、独立した堅牢で透明性のある方法を提供しています。削減目標はパリ協定に科学的に整合しています。企業は自身の気候変動へのコミットメントに責任を持つことができ、投資機関は統一された比較可能な方法で測定可能な気候変動課題に対する野心を掲げることができます。

キャンペーンの仕組み



署名機関の賛同表明: CDPが全ての署名機関・署名投資家に賛同を依頼。参加を希望する署名機関・署名投資家は、選ばれた対象企業にリクエストする書簡に署名



企業にアウトリーチ: CDPは、協働エンゲージメントに賛同する投資家等が連名で署名した書簡を対象企業送付し、コンタクトする



企業のコミットメント: 協働エンゲージメントに前向きに反応した企業が、コミットメントレター「**Business Ambition for 1.5°C**」をSBTiに送付した場合、企業は2050年までのネット・ゼロ排出にコミットする枠組みに参加することになる



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

BUSINESS AMBITION FOR 1.5°C OUR ONLY FUTURE

2020年キャンペーン:概況

1,800社以上

対象企業

対象企業はこちら(CDP署名投資機関のみ、ログイン後の画面からご覧いただけます。)



時価総額

40兆米ドル

(全世界のおよそ60%)

**全世界の
GHG排出量
の25%以上**

をカバー(スコープ1, 2排出量について)

CDP質問書対象企業から選定

137

賛同投資機関

こちらよりご覧ください



**選ばれた
投資家
グループ**

投資行動により産業界における科学に基づくアクションを推進しようとする意欲のある投資家

運用資産総額

20兆米ドル

に迫る

CDP署名投資機関の一部からなる

CDP SBTキャンペーン2021に参加希望の方はこちら



スケジュール

2020年6月-9月

キャンペーン開始・投資家署名

2020年10月

ニュースリリース・対象企業代表者宛にレター送付

2020年10月-2021年5月

高い目標設定のための企業エンゲージメント

2021年5月

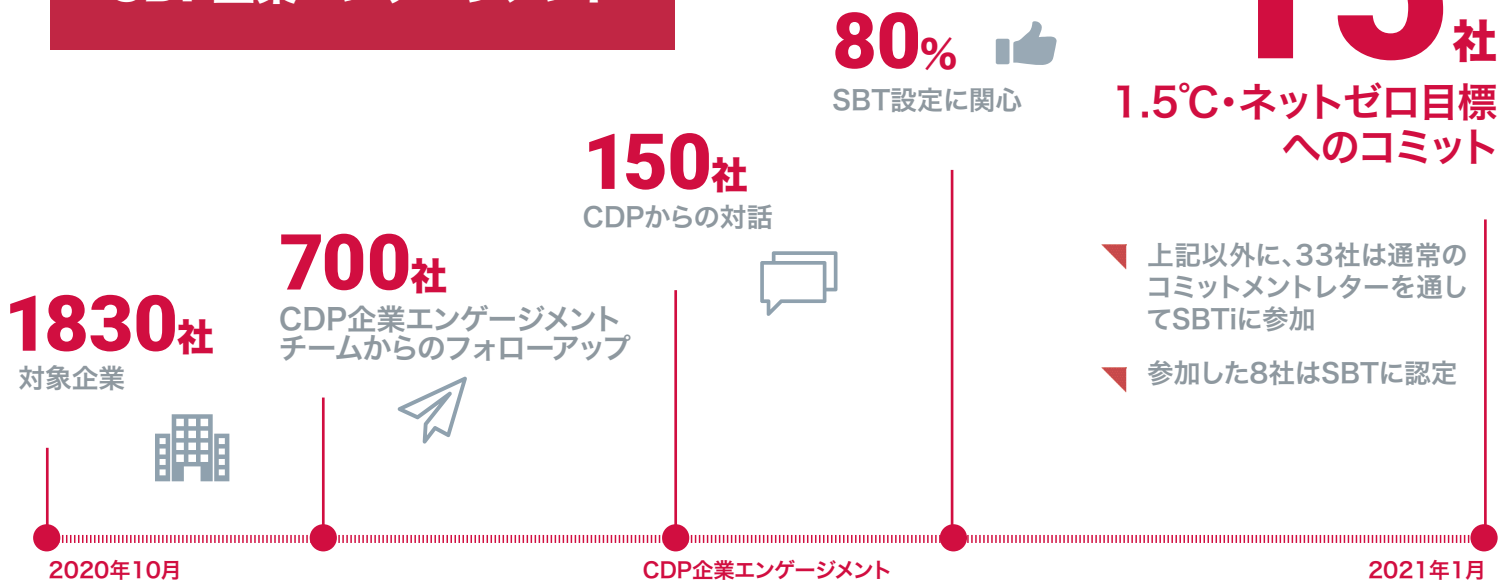
キャンペーン初年度のレビュー

2021年6月-9月

2021年度のキャンペーン開始

キャンペーンの進捗 2020年10月以降

CDP企業エンゲージメント



キャンペーンに参加する

企業に直接SBT設定に向けたエンゲージメントを実施希望ですか？

エンゲージメントトラッカーをダウンロードし、対象企業を選択してください

主なメディア報道



投資機関が高排出企業にSBTを設定するよう促す



アレクタ、ストラスクライド等の投資機関がSBT設定を要請



炭素排出量を削減する企業は時価総額が15%上昇する



運用資産総額20兆米ドルの投資家グループが高排出企業に働きかけ



投資機関が気候変動目標を設定するよう企業に促す



スウェーデン大手企業が世界から選定:「変化が必要」

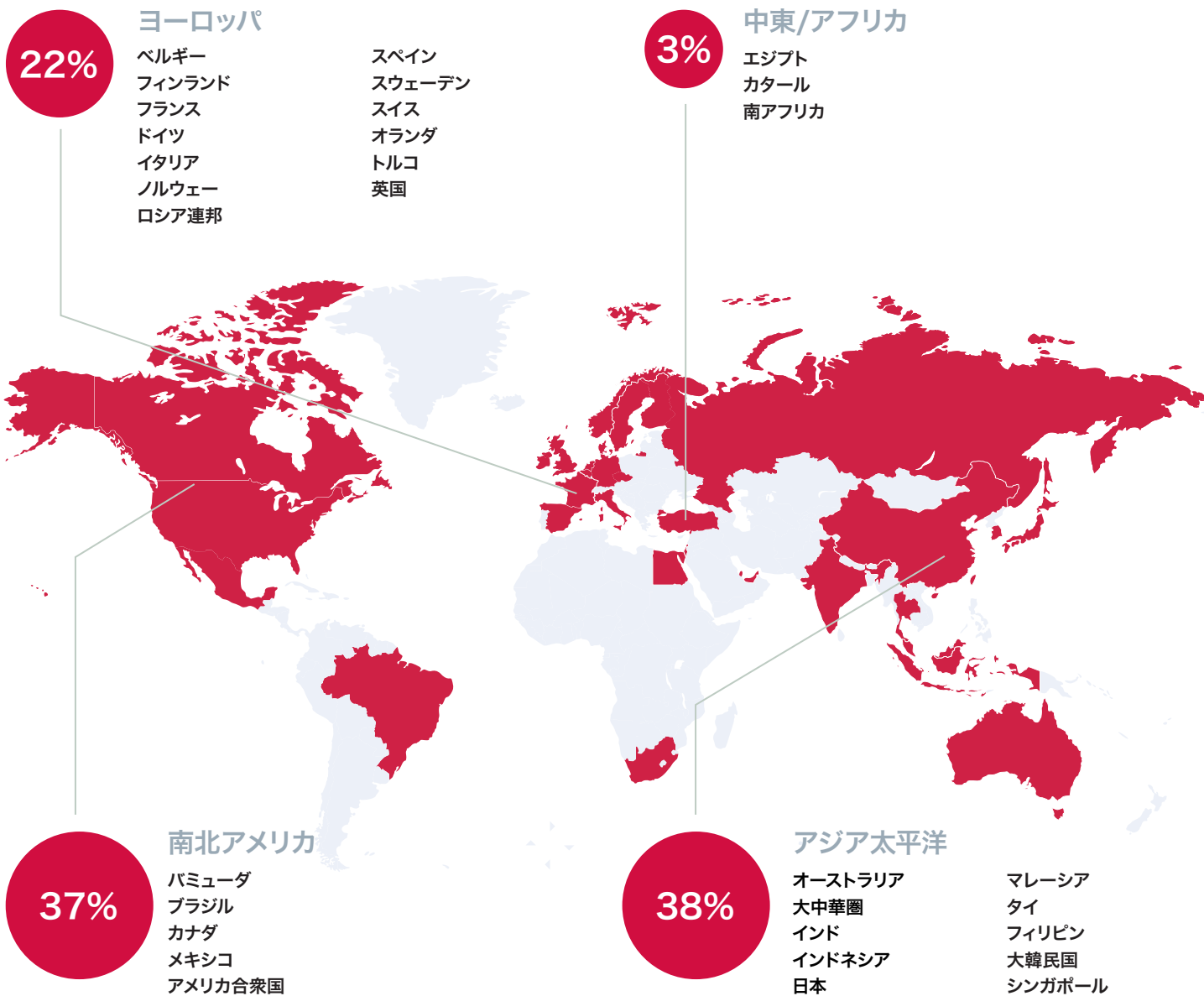



投資機関が世界の排出量の25%を占める企業に働きかけ




大手投資機関が1800社に働きかけ


全世界の対象1850社





本キャンペーンとその目的は、気候関連のリスクと機会に関する私たち自身の取り組みとよく整合しています。魅力的な投資を続けるためには、企業がパリ協定の目的に沿った気候戦略を策定することが不可欠です。


AP基金 責任投資責任者
サンドラ・メトワイヤー





日興アセットマネジメントは、ESGを投資運用プロセスに統合しています。しかしながら、これは、企業の透明性の高い情報開示と強いコミットメント、さらに、経営陣の投資家との協業を受け入れる姿勢があって、はじめて可能となるものです。私たちは、このキャンペーンが、投資家が気候変動をシリアスに捉え、フォワードルッキングな科学に基づく目標の早期の設定、ならびに、その長期経営戦略への統合を重要視していることを伝えるシグナルになることを期待しています。

日興アセットマネジメント株式会社
専務執行役員兼最高投資責任者
辻村裕樹




科学に基づく目標の設定を怠る企業は、社会や規制当局が気候変動への関心を高める中で、コストの増加あるいはビジネス機会の逸失に見舞われる恐れがあります。科学に基づく目標は、この種の極めて重要な自己分析を促すだけでなく、機関投資家が分析の改善を通じてより良い受託者責任を果たすことを可能とします。

MFSインベストメントマネジメント
最高投資責任者
テッド・マロニー



CDP SBTキャンペーン対象サンプル

このキャンペーンは、世界の投資可能な市場で最も影響力のある企業を対象としています。CDPは、MSCI ACWIインデックスを基にこのサンプルを慎重に選定し、気候と投資の両方の観点から最大の影響と関連性を確保するために、いくつかの優先順位付けの基準を適用しました。

詳細なサンプル設定の基準は[こちら](#)をご覧ください。

全対象企業	CDP2020回答企業	SBT設定の意思を表明した企業	時価総額	総GHG排出量(スコープ1,2,3)	MSCI ACWIインデックスのカバー範囲
1830	1033	383	\$38.7 Trn	47.5 GtCO2e	45%

イニシアチブ目標設定支援ツール

すべてのセクターの企業は、SBTiのBusiness Ambition for 1.5°Cまたは通常のコミットメントレターに署名することにより、SBTiの設定を公に約束することができます。石油・ガスセクター*を除くすべてのセクターの企業は、科学に基づく目標を設定することができ、50近くのセクターの企業が参加しています。SBTiは、しっかりとした科学に基づく目標を設定する際に特定のセクターをサポートするための方法論、フレームワーク、ガイダンス、およびツールの開発に注力しています。すべてのSBTiセクター別の開発プロジェクトと関連するタイムラインは[こちら](#)よりご覧ください。

CDP-ACSの産業分類	キャンペーン対象企業数	SBTi目標設定支援ツール(総量削減の手法以外で、石油ガスセクターを除くすべてのセクターで利用可能なもの)
輸送サービス	159	利用可能: 旅客・貨物の陸上輸送とOEMセクターのためのSBTi輸送セクターガイダンスおよびセクター別脱炭素化手法(SDA) 開発中: 海運および航空セクターのためのSBTi輸送セクター方法論、ツール、ガイダンス(2021年)
アパレル	6	利用可能: 衣料品および靴セクターのためのSBTiガイダンス
食品・飲料・農業関連	45	要件定義段階: 森林・土地利用・農業(FLAG)セクターのためのSBTi方法論とガイダンス
素材	303	要件定義段階: アルミニウムセクターのためのSBTi方法論 要件定義段階: Forest, Land and Agriculture (FLAG)のためのSBTi方法論
バイオ技術・ヘルスケア・製薬	73	本セクター固有の方法論やガイダンスはありません。
化石燃料	249	開発中: 石油ガスセクターのためのSBTi方法論(2021)-石油ガスセクターは現在SBTを設定できません
ホスピタリティ	16	本セクター固有の方法論やガイダンスはありません
製造	259	要件定義段階: 化学・石油化学セクターのためのSBTi方法論
発電	223	利用可能: 電力セクターのためのSBTi1.5°Cへの軌道
小売	73	本セクター固有の方法論やガイダンスはありません
サービス	302	利用可能: ITCセクターのためのITU・GSMA方法論-1.5°Cに向けた総量削減に整合 開発中: 金融機関向けSBTi方法論(現在パイロット期間、2021年に策定)
資源採掘	22	本セクター固有の方法論やガイダンスはありません
インフラ関連	100	本セクター固有の方法論やガイダンスはありません

*SBTiは現在、石油ガスセクターの企業の目標を検証できません。セクターの複雑さを考慮し、現在開発中の石油ガスセクターのための方法論から除外されている石油およびガスサービス会社およびその他のサブセクターのさまざまな事例について、現在議論しています。